

北海道の若手土木技術者と土木系学生の  
ウェルビーイング意識調査  
調査結果

---

2026/5/21  
土木学会北海道支部 活性化 WG

---

## 1. 調査の概要と結果の概要

### 1.1 調査の目的

本調査は、北海道の土木業界における将来の担い手である「学生」と、現在第一線で活躍する「若手技術者」の意識を可視化することを目的としました。特に、双方が「ウェルビーイング（幸福・満足度）」を感じるために何を重視し、どのようなギャップを抱えているかを明らかにすることで、業界の魅力向上と人材定着の指針を得ることを目指しています。

### 1.2 調査対象と手法

- 対象者：北海道内の土木系大学生・高専生、若手土木技術者 計 186 名
- 調査項目：
  - 土木系若手技術者：就職後の年数、活動拠点、業種、就職活動時と現在で重要だと思う項目
  - 学生：学年、進路状況、進路先の業種と地域、就職先で重要だと思う項目、社会人への不安
  - 共通：交流の形式とテーマ、土木業界の魅力向上のための提案
- 調査手法：Google フォームによるアンケート調査（選択式と記述式）
- 調査期間：2026/3/18～2026/4/6
- 呼びかけ方法：活性化 WG 委員から各組織・大学・高専への回答依頼、土木学会 北海道支部メールニュース vol.267 (2026/3/19 発行)、北海道建設新聞の記事掲載 (2026/3/27 発行)

### 1.3 主要な調査結果の要約

- 回答者は学生と若手技術者がほぼ半数ずつ
- 学生・若手技術者共通の最重視事項は「給与」
- 就職後は 4～6 年目以降「個人や家族の時間」「休暇の取りやすさ」が上昇
- 学生の多くは「自分の技術力・能力」が不安
- 希望する交流の形式は参加者の距離が近い対面形式

## 2. 回答者の属性分析

### 2.1 回答者の構成

図-1 から回答者は学生が 100 名（54%）、若手技術者が 86 名（46%）で、双方の意見をバランスよく収集できました。

現在のあなたの立場を教えてください

186 件の回答

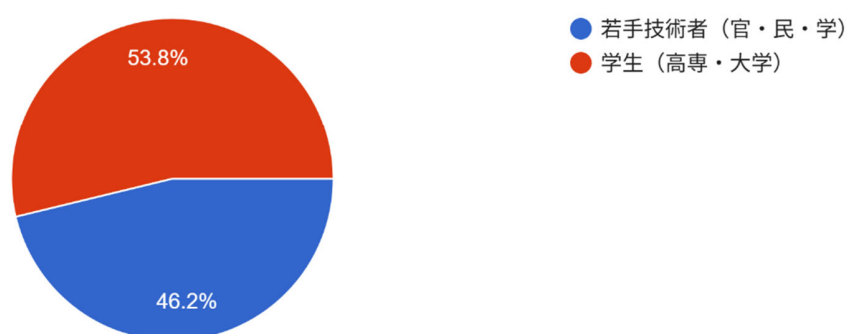


図-1 回答者の構成

### 2.2 若手技術者のプロフィール

図-2 から就職後の年数はおおむね 3 等分され、年次による偏りはありませんでした。図-3 の活動拠点は札幌圏を拠点とする回答者が最も多いものの、道外や札幌圏以外の道内からの回答も一定数含まれています。道外からの回答は、道内大学・高専の卒業生で、道外に就職した人からの回答と考えられます。図-4 の現在所属している業種は、建設会社・メーカー、コンサルタントが全体の約 8 割を占めています。

就職後の年数を教えてください（転職経験がある場合は通算で）  
86件の回答

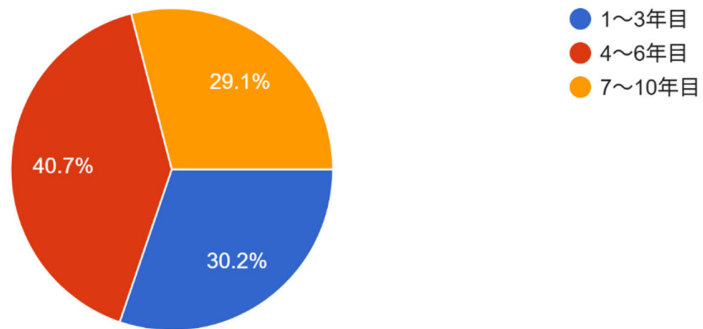


図-2 就職後の年数

主な活動拠点を教えてください  
86件の回答

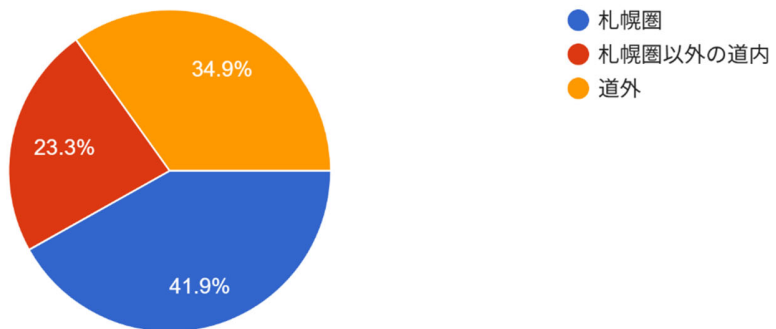


図-3 若手技術者の活動拠点

業種を教えてください  
86件の回答

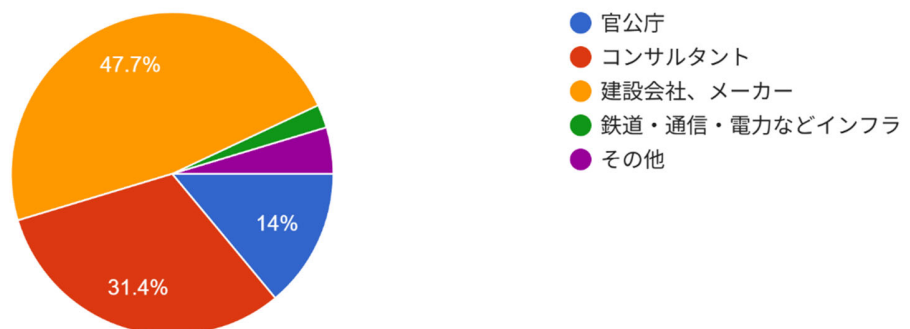


図-4 若手技術者の所属

回答者の偏りの傾向を確認するため、表-1 に若手技術者の業種と地域の関係を示します。コンサルタントの回答者は 85%が札幌圏を拠点としています。反対に官公庁の回答者は 2/3 が札幌圏以外の道内となっています。建設会社・メーカーの回答者はこれらに比べて、道外・札幌圏外に広く分布しています。なお、就職後の年数と業種、就職後の年数と活動拠点については、偏りが少ない結果でした。

表-1 若手技術者の業種と地域の関係

業種\拠点	札幌圏	札幌圏以外の道内	道外	合計
コンサルタント	23	0	4	27
建設会社・メーカー	8	12	21	41
官公庁	2	8	2	12
その他・インフラ	3	0	3	6
合計	36	20	30	86

### 2.3 学生のプロフィール

図-5 から回答した学生は大学 3 年生以上の高学年で約 9 割を占めており、進路選択が間近に迫っている学生からの回答となっています。高専生からの回答はなくアンケートの周知方法に課題が残りました。高学年の回答者が多かったため図-6 の進路選択の状況では決定済が半数程度となりました。

現在の学年を教えてください  
100 件の回答

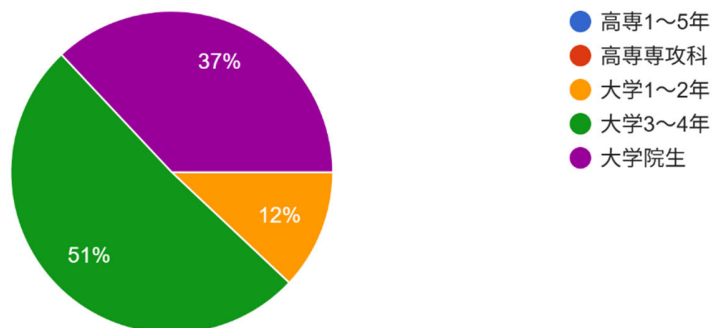


図-5 学生の学年

進路選択（就活、進学）の状況を教えてください  
100件の回答

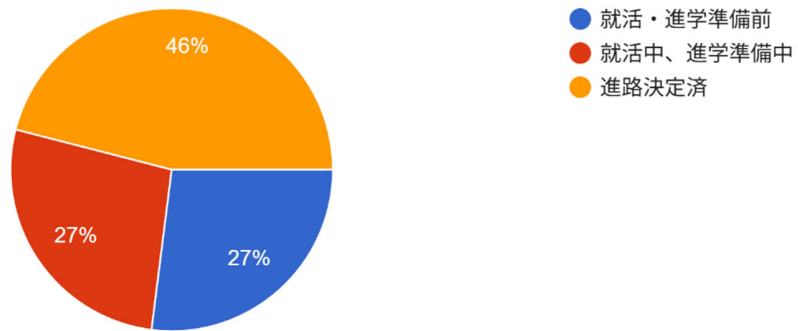


図-6 進路選択の状況

図-7 の進路は進学が最も多いものの、就職先としては建設会社・メーカーとコンサルタントがほぼ同率で、官公庁と鉄道・通信・電力などインフラが続き、土木系学生の就職先の一般的分布を反映しています。図-8 の希望地域では札幌圏と道外が約 3 割で、札幌圏以外の道内は約 1 割となりました。一方、地域にはこだわらない人たちは全体の 1/4 でした。

進路先として志望、決定している業種を教えてください  
100件の回答

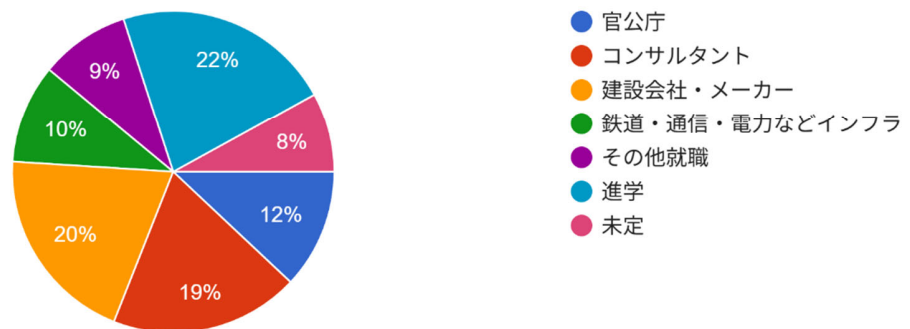


図-7 進路先の希望・決定業種

進路先として希望している地域を教えてください  
99件の回答

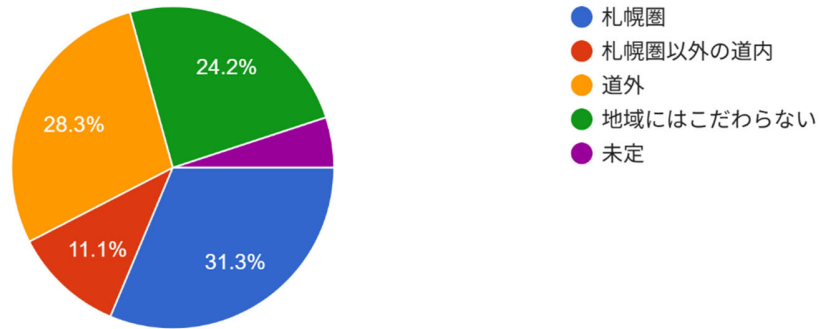


図-8 進路先の希望地域

表-2は業種と希望地域の相関関係です。官公庁志望者では道内を希望する割合が計64%に達します。学生の出身地は不明ですが地元志向が表れていると推測されます。一方、コンサルタントでは札幌圏が最多で道外もほぼ同数となっており、大手のコンサルタント会社が集まる都市部での勤務を希望していることが推定されます。これに対して、建設会社・メーカーは、道外(30%)、札幌圏(20%)、道内他地域(20%)、こだわらない(25%)と、回答が分散しています。ゼネコンのような広域展開企業を志望する人と、地元の建設会社で地域貢献を目指す人の両方が示唆されます。インフラ（鉄道・電力・通信）については、札幌圏を希望する回答は0%でした。一方で「地域にはこだわらない」が50%、道外が40%となっており、企業の規模や事業内容を重視し、配属地に対しては柔軟な姿勢を持つ学生が多い可能性があります。なお、このようなクロス集計では各回答の人数が数名程度と少ないことに留意する必要があります。

表-2 学生の進路（志望）先と地域の関係

業種\地域	札幌圏	道内他	道外	こだわらない	未定	合計
官公庁	5	2	3	1	0	11
コンサルタント	7	0	6	5	1	19
建設会社・メーカー	4	4	6	5	1	20
インフラ	0	1	4	5	0	10
進学	10	4	4	3	1	22
その他・未定	5	0	5	5	2	17
<b>全体合計</b>	<b>31</b>	<b>11</b>	<b>28</b>	<b>24</b>	<b>5</b>	<b>99</b>

### 3. 若手技術者の仕事と生活

図-9 は若手技術者全体が現在の仕事や生活で重要だと思う項目の集計結果です。「給与」の回答が圧倒的に多く、次いで「仕事のやりがい」「職場環境」といったモチベーションにかかわる項目が重視されています。一方、「職種」「昇進」を選択した人は少ない結果でしたが、この2項目は就職活動時に重視した項目と比較すると傾向に違いがあります。なお、「個人や家族の時間」より下の「福利厚生」「どれだけの人と繋がっているか」「安定した業績」は「その他」に記入した人が自由記述として入力した内容で、この項目が設定されていた場合、より多くの人を選択した可能性はあります。

図-10 は若手技術者全体が就職活動時に重要だと思っていた項目の集計結果です。図-9 と同様「給与」が最も多い回答数で、「仕事のやりがい」「職場環境」も高い傾向は同じですが、「勤務地」は就職活動時にはより重視されていたことが分かります。同様に「職種」も就職活動時の方が高い傾向で、これらの項目は就職後には選択肢が限定されるため、重要に感じなくなったと考えられます。逆に「個人や家族の時間」は就職後の方が高く、学生時代にはあまり意識していなかったことが伺われます。「昇進」についてはいずれも選択した人は少ない結果でした。なお、図-9 と同様、「日本全国に支社・支店があるか」「特になかった」はその他を回答した人の入力内容です。

図-11 は年代別に現在と就職活動時を比較した結果です。4～6年目の回答者がやや多いため、全体的に回答数も多いですが、傾向はどの世代もおおむね同様です。年代ごとの特徴としては、1～3年目では仕事のやりがいが就活時より上昇し、現場での手応えを感じ始めてい

る様子が伺えます。4～6年目以降は「個人や家族の時間」が就活時の低い水準から上昇し、ライフイベントやワークライフバランスへの意識が強くなったことが読み取れます。

【複数回答】現在の仕事や生活で重要だと思う項目を3つまで選んでください

86件の回答

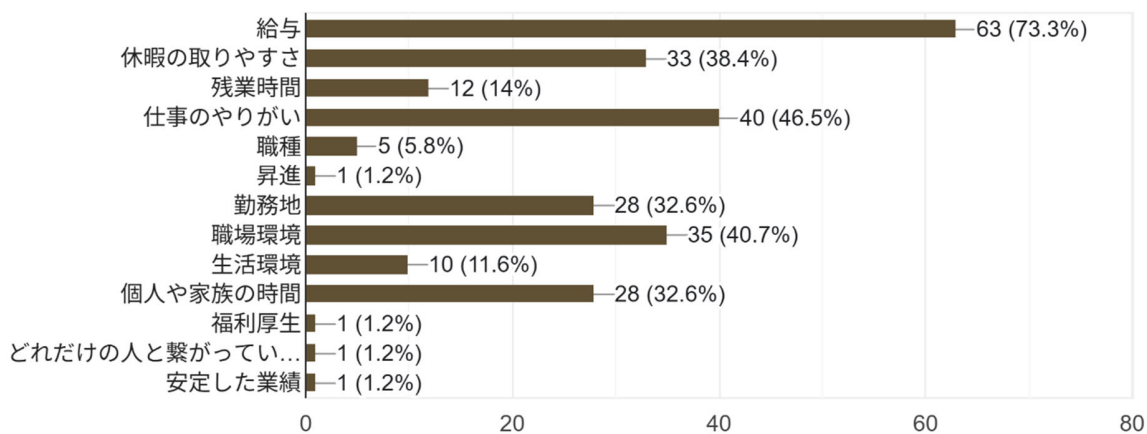


図-9 若手技術者が重視している項目

【複数回答】あなたの「就職活動時」に重要だと思っていた項目を3つまで選んでください

86件の回答

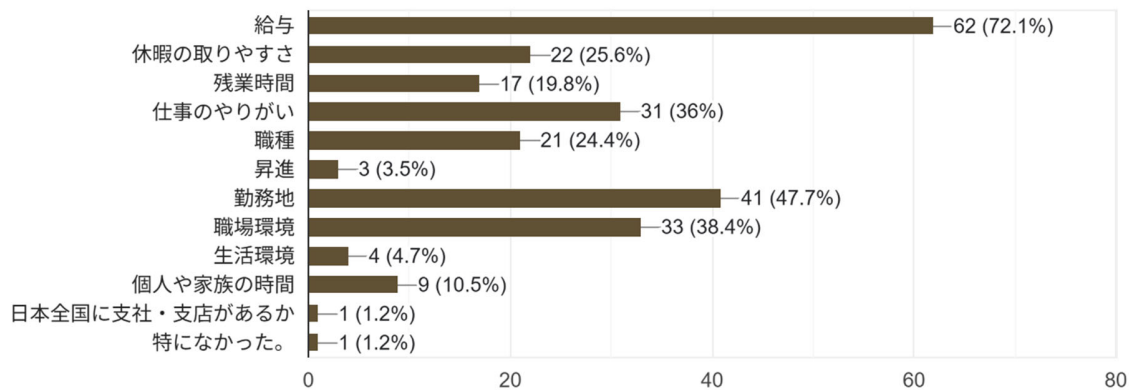
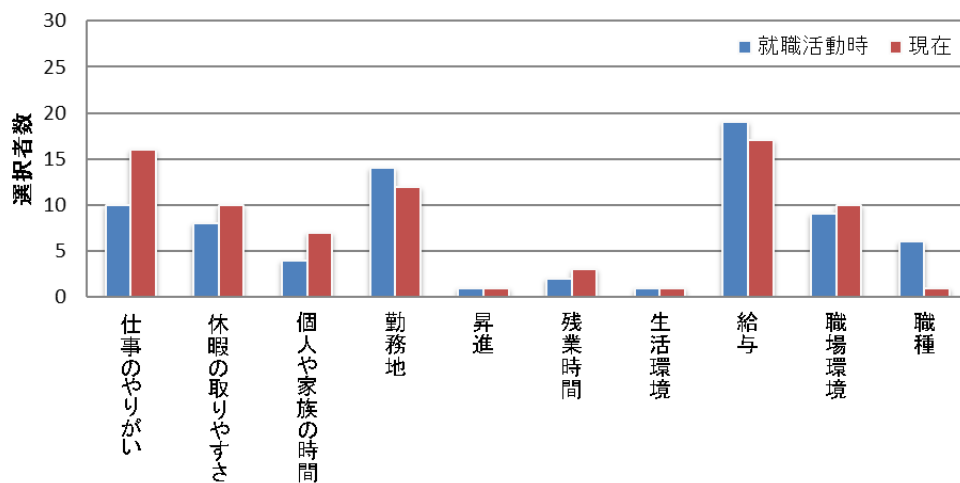
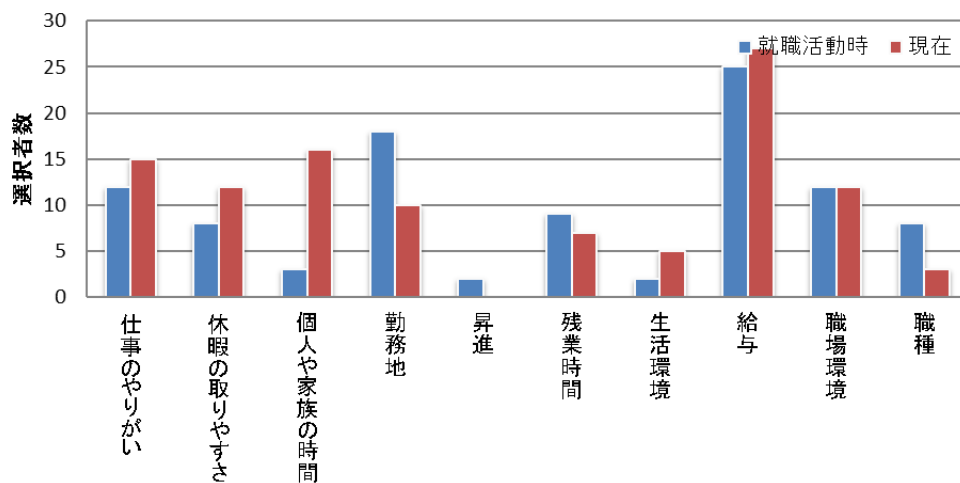


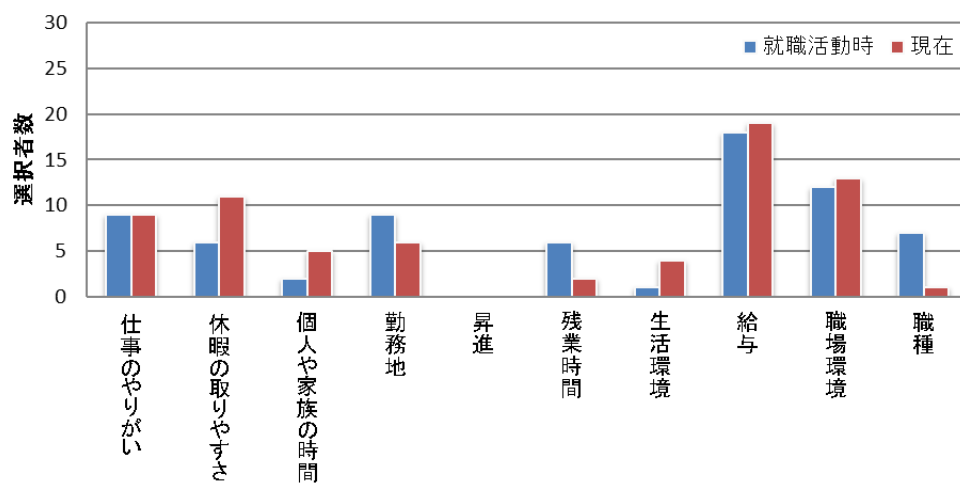
図-10 就職活動時に重視していた項目



(a) 1～3年目



(b) 4～6年目



(c) 7～10年目

図-11 就業活動時と現在の変化

#### 4. 学生の志望と不安

図-12 は学生が就職先を選ぶ際に重視する項目の集計結果です。選択肢は若手技術者と同様に設定しています。学生も若手技術者と同様に「給与」を最重視していますが、次いで「勤務地」「職場環境」と同等以上に「仕事のやりがい」を重視する傾向が見られます。また「個人や家族の時間」を重視する人は、若手技術者の就活時と比べて高く、現在の学生はプライベートの時間をより重視していることが伺えます。一方、件数では少ないものの「昇進」を挙げる人は若手技術者より多くなっていました。なお、図-12 でも「福利厚生」は「その他」に記入した人の自由記述内容です。

表-3 は学生の進路（志望）先と重視する項目をまとめたものです。建設会社・メーカー志望者では、「給与」に対する意識が高くほぼ全員が選択しています。コンサルタントでは「職種」の順位がやや高く専門性を重視する傾向があります。官公庁では他の業種と異なり、「勤務地」が第1位となっています。特定の地域に根ざした生活や安定性を重視する傾向が見受けられます。鉄道・通信・電力などのインフラでも「給与」への期待が非常に高く、次いで「仕事のやりがい」や、ワークライフバランスに関連する項目が上位になっています。

図-13 は学生が社会人になるにあたって不安なことの集計結果で、当てはまるものをすべて回答してもらいました。その結果、「自分の技術力・能力」に対する不安が最も大きく、専門職としての技術習得への心配が顕著に現れました。なお、一人当たりの選択数は約 2.7 個となり、5 つ以上の選択肢にチェックした人は 8 名、逆にチェックした項目が無かった人は 1 名でした。

##### 【複数回答】

就職先を選ぶ際に重視する項目を 3 つまで選んでください（進学する人は将来の就職について）  
100 件の回答

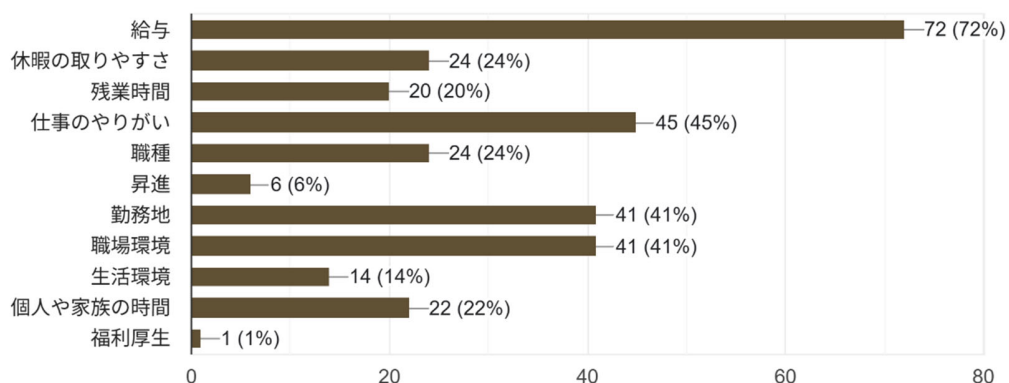


図-12 学生が重視する項目

表-3 学生の進路（志望）先と重視する項目

順位	建設会社・メーカー (n=20)		コンサルタント (n=19)		官公庁 (n=12)		インフラ (n=10)		大学院進学 (n=22)	
	項目	回答	項目	回答	項目	回答	項目	回答	項目	回答
1	給与	19	給与	12	勤務地	8	給与	9	給与	15
2	やりがい	12	職場環境	8	職場環境	5	やりがい	5	職場環境	10
3	勤務地	11	やりがい	7	個人時間	5	残業時間	4	やりがい	10
4	職場環境	9	職種	7	残業時間	4	休暇	4	個人時間	8
5	生活環境	5	勤務地	6	やりがい	4	勤務地	3	休暇	7
6	職種	5	個人時間	5	給与	3	職種	2	勤務地	7
7	残業時間	4	残業時間	3	生活環境	3	職場環境	1	職種	3
8	昇進	3	休暇	3	昇進	2	個人時間	1	残業時間	3
9	個人時間	2	生活環境	2	休暇	2			生活環境	2
10	休暇	2			職種	2			昇進	1

【複数回答】社会人になるにあたって不安なこと...ですか？当てはまるものをすべて選んでください  
99件の回答

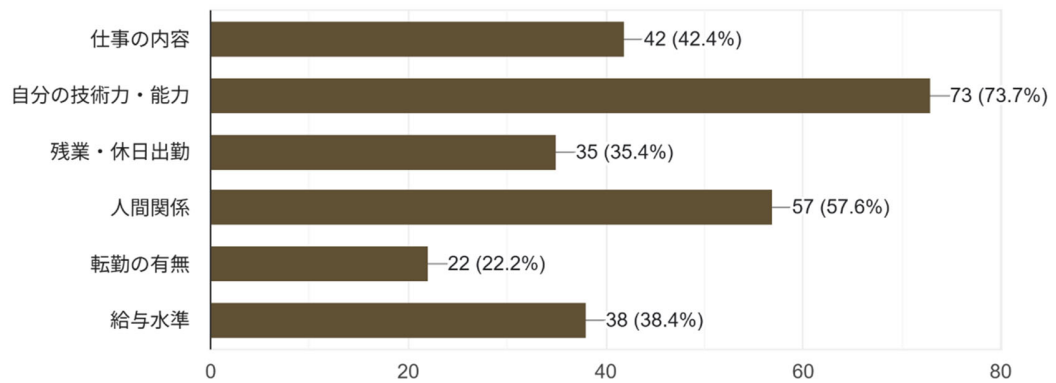


図-13 学生が不安なこと

## 5. 交流と将来の展望

図-14 は若手技術者と学生の双方に、どのような形式での交流が望ましいか尋ねた結果です。スクール形式の説明会という項目は設けませんでした。 「オンライン相談会」は少なく、「現場見学」や「懇親会」「座談会」といった、リアルな実態に触れられる体験型の交流が求められています。その他の自由記述では「団体スポーツ」と「メール」がありました。

【複数回答】若手技術者や学生との交流の機会があるとしたら、どのような形式を希望しますか？

184 件の回答

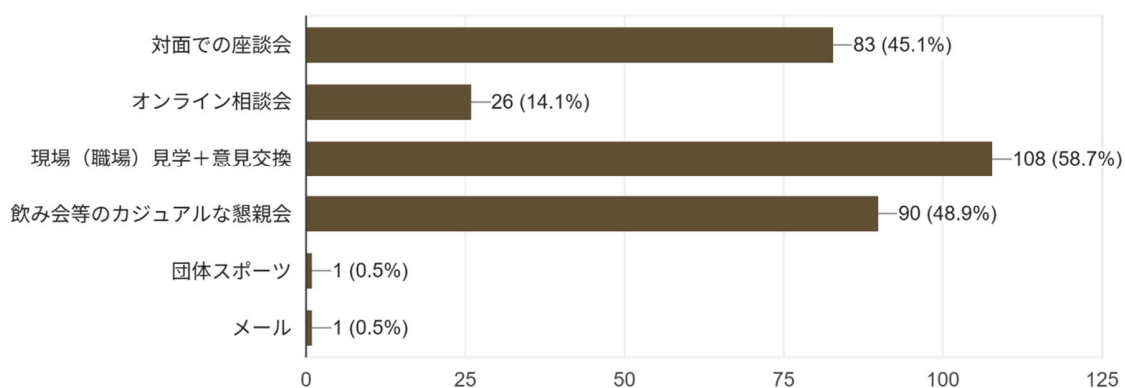


図-14 希望する交流の形式

図-15、表-4 は交流の場で具体的に話したい、あるいは聞きたいテーマを尋ねた結果です。112 件の回答を項目別に分解し、183 件をカテゴリ別に分類しました。全体として「労働環境・生活環境」に関する関心が最も多く、特にワークライフバランスについては学生、若手技術者の両方が多数挙げています。「経験」についても両方が一致し、若手技術者は経験を伝えたい、学生は聞きたいという希望が目立ちました。具体的には「失敗談」を挙げた回答が多数ありました。「キャリア・就職」も両方で多いものの、学生側は学生のうちにやっておいた方がよいことや、就職以降のキャリアの作り方に関心が高く、技術者側は学生がどのような観点で就職先を探しているのかなどの採用側の視点が特徴的でした。学生と若手技術者で傾向が異なっていたのは「やりがい」と「制度」で、特に若手がやりがいを伝えたいと願っていることは印象的でした。

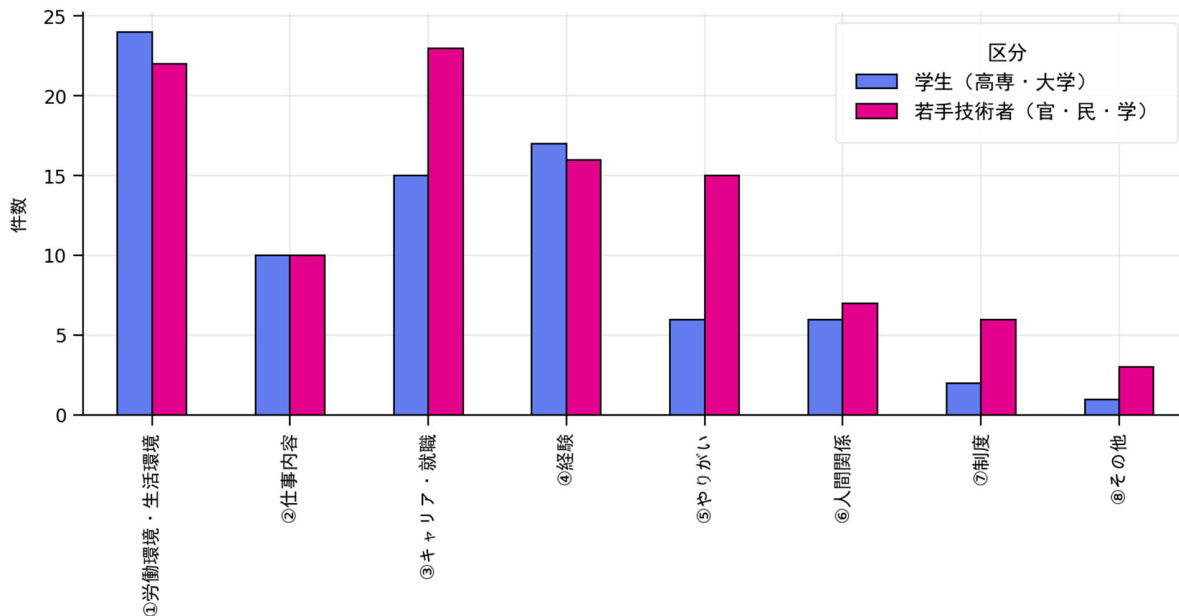


図-15 交流の場で期待するテーマ（区分別集計結果）

表-4 交流の場で期待するテーマ（回答の抜粋）

カテゴリ	件数	個別の回答（抜粋）
①労働環境・生活環境	46	ワークライフバランスの現実／どの程度の生活をできるか／生活全体でやりたいことができるか／仕事とプライベートのメリハリ／東京の家賃安くてアクセスいいところ／どんな生活を送っているか／有給休暇の取り方や現場のルール／現場の実際の雰囲気／残業の度合い／入社前と入社後の生活の変化／生活スタイルが変わったことによる職場環境の変化／子育て環境／休暇／就職後の生活
②仕事内容	20	1日のスケジュール／職種や仕事内容への適性／入社前後のギャップ／業務の内容／安全、品質、工程の管理方法／北海道の現場あるある／実際のコンサルタントの仕事／他分野からでも活躍できる場があること／現場での良い事と悪い事／1～3年目でする仕事内容／入社してからの仕事／パンフレットには書けない実情
③キャリア・就職	38	仕事をする上で大切なスキル／学生時代にした方が良いこと、しなくて良いこと／将来どのような人材になりたいか／学生が企業のどこを見ているか／どのように職業を決めたか／業界の今後／将来の展望（就きたい役職）／1年目のアドバイス／技術士受験のススメ／将来設計について／資格とタイミング／学生の意見／学生が考える将来像／学生の転職や起業の感覚／キャリア形成／キャリアの流れ
④経験	33	失敗談／苦労した話と乗り越えた話／仕事に慣れるまで／仕事が理解できたのはいつか／働いて不満を感じるのと対処法／珍しい経験／講義が実務で活かしたこと／〇年目でできるようになったこと／学生時代に思っていたことと今のギャップ／後悔していること／大変なこと／初任給の使い道

⑤やりがい	21	仕事のやりがい／仕事の満足度・充実度／仕事の魅力／地域住民への貢献／竣工した時の達成感／何のために仕事をするのか
⑥人間関係	13	人間関係（上司、社内・社外、現場）／職場の雰囲気／社交性／働く人たちの雰囲気／相関図を交流の場で作成／人間関係の構築の仕方／コミュニケーションの大切さについて／上司とのコミュニケーションの取り方
⑦制度	8	給与／職場での教育体制（OJTなど）／転勤／休暇／社内の制度
⑧その他	4	和やかな雰囲気で話しを聞きたい／学生が知りたいと思っている内容／学生が企業側に求めること／学生の研究テーマ

最後の設問は「北海道の土木業界がもっと魅力的になるために、必要だと思うことを一言お願いします」としました。図-16、表-5 の回答からは、学生・若手技術者共に待遇改善の必要性を強く訴えています。また、知名度やイメージの向上など外部からの見え方を重視する傾向も両方に共通しています。若手技術者側では、「人材確保・育成・交流」に関する言及が多く、業界の将来を担う後輩への視点や、横のつながりの強化を求めています。また「DX」「AI活用」といった業務効率化による魅力向上も挙げており、現場の負担軽減が魅力に直結するという視点が見られます。学生側からは、北海道の課題を克服することや、北海道の魅力を生かすことなど、地域特性を踏まえた魅力向上に期待する声が多くありました。2つの自由記述の設問に半数以上の方が回答しており、本調査へ託す若手の思いが感じられます。

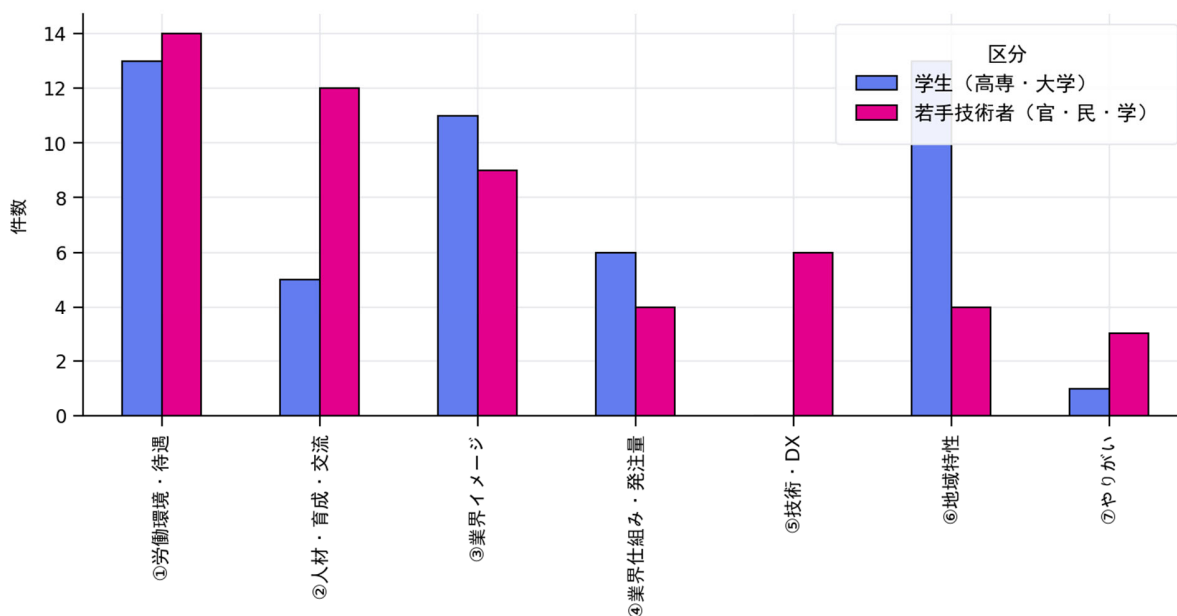


図-16 土木の魅力向上のため必要なこと（区分別集計結果）

表-5 魅力向上のための提言

カテゴリ	件数	回答内容のキーワード抜粋
①労働環境・待遇	27	給料上げて技術者増でインフラ整備／給与水準上げる勤務地は変更しようない／給与水準は本州と同等／現場手当上げる、女性の採用増で男性が肩代わりする風潮を無くす／働きやすい環境づくりと人材育成／ワークライフバランス／給与水準と勤務地の利便性改善／ハラスメントのない世界、業界内で同世代拡充／熱中症対策や防寒対策／ひらすら給料が高くなるという
②人材・育成・交流	17	土木専攻以外の人が参画できる雰囲気／道外との交流／男性主体で若手目線で悪しき文化が多々ある。素晴らしい点もありざっくばらんに話せる機会。土木を魅力的にするには若手が輝く他ない／働いている人の活気／現場が小さく気が合わない人がいると落ち込むので、定期的に他の人と話せる機会／横のつながりが希薄なため、若手が活発に働いていると魅力的／基礎、経験の蓄積／新しい価値観、発想をどんどん取り入れる。若手の交流／学生のうちから社会の人と繋がり「友達」は多い方がいい。数珠繋ぎを沢山する／敷居が低く知識を吸収し易い環境／学生や他社と合同の現場勉強会／初めから土木の人しか入れない業界だと思わせない／現場見学会で関係者以外立入禁止の場所を見られる機会
③業界イメージの改善	20	CMをもっと／土木の強みを大々的にアピール／土木の仕事、業績を発信／どんな活動を行なっているか情報発信／新設の仕事がたくさんあることを伝える／春夏秋冬、人々の生活を支える存在をアピール／現場紹介／身の回りの物の裏には設計者や建設者がそれぞれ居る／学生向け現場見学イベント増／土木という名のイメージ払拭／何をしてくるか世の中に知らしめる／職場環境の良さをもっと広める／仕事内容、職場環境の認知／業務内容、私生活のイメージ明瞭化／土木業、建設業のイメージ改善
④業界の制度・仕組み・発注量	10	フレックスタイム制度、在宅ワーク等、長く働きやすい環境／子育てしながら働く従事者に包括的・柔軟な支援／転勤をなくす／働き方・安全・評価が数字で伝わる業界／地域を限定したポスト／道内の転勤先が選べる／新幹線が終わってから目玉になる新規事業／公共工事の増加／大きなプロジェクト／冬季オリンピック誘致で老朽化インフラ整備
⑤技術・DX	6	スマートさ／雪国ならではの土木技術、施工方法や設計指針を深掘り／大きな都市開発事業が起きるだけの土地的な魅力、雪国の課題を超える先進的技術による工事／AI活用で業務効率化／事務処理にかかる時間を極力少なく現場に集中／技術活用による働き方改善の見せ方
⑥地域特性・地方	17	開発による道内地方都市活性化が分かりやすいこと／積雪寒冷地以外にも多極分散、人口減少など、北海道の特徴・課題にフォーカスした研究／北海道ならではの技術でオンリーワンの土木／厳しい自然環境を逆手に取り観光や物流の最適化モデルとなる／人口が増える／雪害対策へのアプローチ／道内各都市の発展／北海道の大きさに負けない構造物の大きさ、迫力をアピール／北海道独自の強み／厳しい気候に配慮した労働環境／いっぱい人が住むようにするための影の立役者になる／北海道特有のものを売り出す／地方のデメリットを上回るメリット／冬季でも仕事のしやすい環境整備／北海道

		自体が住環境として魅力的になる
⑦ やりがい・意義・誇り	4	ランドマークを新たに作る／プライベートの時間も充実させながら、やりがいを持ってのびのびと働ける環境／まずは誰かの為に／北海道の広大な景色を、自分たちの手で形にしていく楽しさ

## 6. 調査の成果と今後に向けた提言

本調査を通じて、北海道の土木業界におけるウェルビーイング向上に向けて3つのポイントが明らかになりました。

- **ミスマッチの構造的理解**：学生が「能力不足」に不安を感じ、社会人が「時間の不足」に苦悩するという、ライフフェーズごとの課題が浮かび上がりました。採用時には「教育体制の提示」、定着期には「働き方の柔軟性」を優先するなど、段階的なアプローチの必要性が示唆されました。
- **今後の交流方法**：学生・技術者双方の多くが「現場見学＋カジュアルな対話」を希望していることが判明しました。これは、形式的なセミナーよりも、実感を伴う体験と人間味のある情報交換により、業界の魅力を伝えられることを示しています。
- **属性に応じた価値の提示**：今回の調査では業種により重視項目や希望勤務地に差がある結果が得られました。各団体が自らの特性（地域貢献、専門性と給与など）に合わせて社会や若者にアピールする根拠資料となり得ます。

今後は、本調査をきっかけに、学生や生徒の不安を解消しながら土木界へ迎えるための取り組み、若手技術者の離職リスクや意識変容への対策が促進することが期待されます。また、今回のアンケートでは調査項目に含まれていなかった「性別」や「具体的な生活環境」といったよりパーソナルな要因が、どのように土木業界での幸福感に影響しているか、個別ヒアリング等を通じた質的な深掘り調査を行うことが、より効果的な対策につながると考えられます。

北海道の土木業界が今後も若者の居場所であり続け、地域の安全と安心に貢献し続けるためには、本調査で示された若者のリアルな声に応える改革に業界全体が力を合わせることを求められます。

最後に本調査に回答いただいた学生・若手技術者の皆様や、実施に協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

【アンケートフォームの内容】

## 北海道の若手土木技術者と土木系学生のウェルビーイングのための意識調査

土木学会北海道支部 活性化 WG による若手土木技術者(就職 10 年目まで)と高専・大学生を対象にしたアンケートです。回答時間は 5～10 分ほどです。回答の内容は統計的に処理され個人が特定されることはありません。どうぞご協力ください。回答締切:2026 年 4 月 6 日 17:00

### 現在のあなたの立場を教えてください

\*

- 若手技術者(官・民・学)
- 学生(高専・大学)

### 若手技術者の「今」と「就活」

若手技術者(就職 10 年目まで)の皆さんに回答をお願いします

就職後の年数を教えてください(転職経験がある場合は通算で)

- 1～3 年目
- 4～6 年目
- 7～10 年目

主な活動拠点を教えてください

- 札幌圏
- 札幌圏以外の道内
- 道外

業種を教えてください

- 官公庁
- コンサルタント
- 建設会社、メーカー
- 鉄道・通信・電力などインフラ
- その他

【複数回答】現在の仕事や生活で重要だと思う項目を3つまで選んでください

- 給与
- 休暇の取りやすさ
- 残業時間
- 仕事のやりがい
- 職種
- 昇進
- 勤務地
- 職場環境
- 生活環境
- 個人や家族の時間
- その他:(自由記述)

【複数回答】あなたの「就職活動時」に重要だと思っていた項目を3つまで選んでください

- 給与
- 休暇の取りやすさ
- 残業時間
- 仕事のやりがい
- 職種
- 昇進
- 勤務地
- 職場環境
- 生活環境
- 個人や家族の時間
- その他:(自由記述)

### 学生の「志望」と「不安」

学生の皆さんに回答をお願いします

現在の学年を教えてください

- 高専 1～5 年
- 高専専攻科
- 大学 1～2 年
- 大学 3～4 年
- 大学院生

進路選択(就活、進学)の状況を教えてください

- 就活・進学準備前
- 就活中、進学準備中
- 進路決定済

進路先として志望、決定している業種を教えてください

- 官公庁
- コンサルタント
- 建設会社・メーカー
- 鉄道・通信・電力などインフラ
- その他就職
- 進学
- 未定

進路先として希望している地域を教えてください

- 札幌圏
- 札幌圏以外の道内
- 道外
- 地域にはこだわらない
- 未定

【複数回答】就職先を選ぶ際に重視する項目を3つまで選んでください(進学する人は将来の就職について)

- 給与
- 休暇の取りやすさ
- 残業時間
- 仕事のやりがい
- 職種
- 昇進
- 勤務地
- 職場環境
- 生活環境
- 個人や家族の時間
- その他:

【複数回答】社会人になるにあたって不安なことは何ですか？当てはまるものをすべて選んでください

- 仕事の内容
- 自分の技術力・能力
- 残業・休日出勤
- 人間関係
- 転勤の有無
- 給与水準
- その他:

## 交流と将来への展望

全員に回答をお願いします

【複数回答】若手技術者や学生との交流の機会があるとしたら、どのような形式を希望しますか？

- 対面での座談会
- オンライン相談会
- 現場(職場)見学+意見交換
- 飲み会等のカジュアルな懇親会
- その他:

【自由記述】若手技術者と学生の交流の場では、具体的にどのようなテーマ(例:初任給の使い道、現場の失敗談、ワークライフバランスの現実など)で話を聞きたい(話したい)ですか？

【自由記述】最後に、北海道の土木業界がもっと魅力的になるために、必要だと思うことを一言お願いします

【希望者のみ】調査結果をメールで受け取りたい方はメールアドレスを入力してください(結果の送付以外には使用しません)